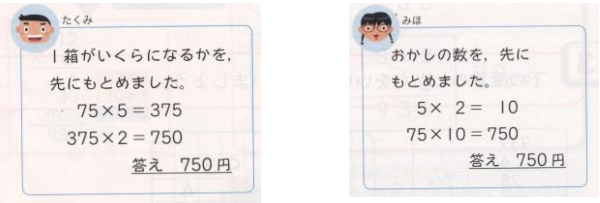


月日 (1校時)	単元名	教材名
10月4日 (金) 3校時	かけ算の筆算	かけ算の筆算としかたを考えよう
本時のねらい 本時 11/15 ○3つの数のかけ算の順番がかわっても答えは同じになることに気づいている。		
評価規準 考 3つの数のかけ算の順番がかわっても答えは同じになることに気づき、説明することができる。(ノート・発言)		
学習過程	学習活動 (○発問・予想される児童の反応)	留意事項・評価
【導入】 8:35	○まとめ、ふり返りをペアで伝え合ひましょう。	・前時の学習のふり返りをする。
【展開】 問題提示 8:37 課題把握 ・問いの共有 8:40 8:45 ・シラバス ・言語わざ ・キーワード 自力解決 集団解決 ・班学習 ・全体学習 8:59 ・考察 9:05 まとめ 9:07	1 問題を読む。 1こ75円のおかしが、1箱に5こずつ入っています。2箱買うと、代金はいくらですか。 ○問題を見て分かっていることや聞かれていること、気づいたことはいませんか。 ・75円のおかしを5個ずつ買うと式は 75×5 。それが二箱あるからその式の答えを2倍するとできそう。 ・1箱に5個ずつ入っているので2箱だと10こになりお菓子の数は全部で10こある。 ・式が1つではないようだ。 2 課題を把握する。 3つの数のかけ算の計算のし方を図や言葉で説明しよう。 (一人学び(8分)・班学び(6分)・学び合い(10分)・まとめ(3分)・振り返り・適用問題(8分)) 「つまりを使って説明する」 おかしの数 1箱の代金 3 図や言葉を使って考える。 ○3つの数のかけ算の計算のし方を図や言葉で説明して下さい。  4 考えたことを説明する。 ○でてきた意見をみて同じところやちがうところ、気づいたことを発表して下さい。 ・答えの求め方はちがうけれど答えは両方750で同じになっている。 ・1箱がいくらになるかを先に求めているところとおかしの数を先に求めているところがちがう。 ○3つの数がでてくるかけ算ではどのようなことが言えるのか発表して下さい。 ・3つの数のかけ算では計算する順番がちがっても答えが同じになっている。 3つの数のかけ算では、計算するじゅんばんがかわっても答えは同じになる。	・具体物を使って考えさせることで、問題文の意味を捉えやすくする。 ・赤線・青線を問題を書いた後に引かせておく。 ・ハンドサインチェックを行い、見通しが立つようにする。*リーダー ・1箱がいくらかを先に計算する方法とお菓子の数を先に求める方法の二つに分けて考えさせる。 考 3つの数のかけ算の順番がかわっても答えは同じになることに気づき、説明することができる。(ノート・発言)
【終末】 ふりかえり 適用問題 11:20	5 学習したことを振り返る。 6 適用問題に取り組む。	